



## 総合評価

総合評価コメント	評価
<p><b>【総評】</b> 総じて、適切な管理運営がなされている事が確認できた。 対象施設は令和3年9月から大規模改修のため休館中であり、主にヒアリングにて評価を行った。 多くの職員の勤続年数が長く、業務を熟知していることから、少人数でありながらも安定した運営がなされていることが確認できた。 令和3年度においては、利用者数、稼働率ともに減少しているが、新型コロナウイルス感染症、大規模修繕による休館の影響であり、問題ないものと考える。また、そのような状況下においても、YouTubeを活用し、文化芸術に関する動画配信を行ったり、他館(西河原公民館)を借りて定期的に事業を実施したりと、工夫をしながら事業を継続したことは評価できる。 一方で、標準点(4.0)を下回った評価分野である「1. 組織・運営体制」、「3. マーケティング・サービス向上」については、指摘項目を確認し、改善を図っていただきたい。</p>	A
<p><b>【優れている点】</b> 文化芸術振興事業については、「音楽の街一泊江」事業など高いレベルの取組がなされていることが確認できた。令和3年度には前述の事情により、実施できていない事業もあるが、コロナ終息後、大規模改修が完了したきれいな施設で、計画通りの事業が実施できれば、利用者数の増加は容易であると考える。是非、積極的な文化芸術振興事業を行い、コロナ前以上の利用者数を目指していただきたい。</p>	
<p><b>【改善すべき点】</b> 組織・運営体制についての評価については、標準を下回っている。当施設の人員は、ベテラン職員が多く、職員間のコミュニケーションが十分図れていると思われる。その反面、馴れ合いや油断から生じる業務事故には注意していただきたい。それを防止するためには、マニュアルなどのルール作りや業務のチェック機能を高めるなどの対応を行うことが望まれる。</p>	
課題と今後の方針	

### 【今後の方針についてのアドバイス】

当施設の最たる強みは、駅前にある立地である。今後も、この強みを活かした事業展開を行っていただきたい。ホールや諸室の稼働率は決して低いとは言えないが、この立地を考えるとやはり物足りないと思われる。要因としては、商業ビル内に入居しており、地上からは施設の存在を確認できないことから、認知度が低いということが考えられる。また、諸室についても、ホールエントランスとは別の階にあり、ホール利用者に認知されにくい。施設の構造上の問題であるため解決できない問題であることから、それを踏まえて、施設の利用や稼働率の向上を行っていくことが課題である。

また、直近の課題として、当施設は大規模改修が完了し、まもなく再開予定であり、改修期間中に、他施設を利用した既存の当施設の利用者たちを、改修後に再び呼び戻すことが重要である。

新型コロナの影響も緩和されつつある状況であることから、まずはコロナ前の状況を取り戻せるよう既存の利用者に重点をおいてPRを行うとともに、更なる利用増加に向けて、新たな取組を考えていきたい。

### 【施設の運営課題についてのアドバイス】

#### ○認知度の向上

既に多様な手段で広報活動がなされているが、さらに認知度を高めるためには、アウトリーチ活動を積極的に活用していきたい。「音楽の街—泊江」事業の中で、学校などへ訪問し公演を行っているが、対面で施設の良さをアピールする絶好の機会であると考え、この機会に施設のPRと一緒にできないか検討していただきたい。

#### ○諸室の稼働率向上

低稼働の時期や時間帯の活用方法を考えたい。最近ではホールの稼働が低い時期に、ホールでピアノを弾ける企画が人気である。こういった事例を参考に、予約が無いところをどのように埋めていくかが重要である。また、各諸室をパソコンでバーチャル見学できるようにしている施設もあるので、利用者に諸室の情報をうまく伝える方法も合わせて考えていただきたい。

#### ○周辺施設との連携

周辺の同種の施設との連携事業についてはヒアリング時に確認できたが、市の他施設との連携については、新型コロナウイルスの影響下ということもあり、今回のモニタリングで確認できなかった。新たな取組を発掘するために他施設との連携を模索してみてはどうだろうか。この点については、例えば、図書館と連携してホールでビブリオバトルを開催したり、公園やスポーツ施設と連携して青空コンサートを実施したりしている事例がある。